

Information

SFTSを発症した犬から人への感染事例について

「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」は、SFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染するとされています。しかし、今回、国内で初めて、SFTSを発症した犬から人に感染し発症した事例が確認されました。

当該患者は、その犬に直接触れながら介護した後、発症したものとみられます。現在は、飼い主、飼い犬ともに回復しています。

SFTSは、6日～2週間の潜伏期間を経て、発熱、消化器症状を引き起こし、重症化すれば、死亡する場合があります。まずは、マダニに咬まれないように注意しましょう。

問 役場 環境保全課 廃棄物対策係 内線2501

予防方法

- ▶ 草むらや山など、マダニが生息する場所に入る際は、長袖・長ズボン、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出を避けましょう。
- ▶ 屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか確認しましょう。
- ▶ マダニに咬まれた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関で処置しましょう。
- ▶ マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、直ちに医療機関を受診してください。その際、ペットの健康状態についても、主治医に伝えましょう。
- ▶ ペットが体調不良の際は、直ちに動物病院を受診しましょう。

Information

ヘルプマーク・ヘルプカードの配布について

愛媛県では、平成29年10月からヘルプマークの配布を開始しました。役場町民生活課窓口でも配布していますので、必要な方はお声かけください。

また、ヘルプカードも配布していますので、お気軽にご相談ください。

問 役場 町民生活課 生活支援係 内線2118

ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるように作成されたマーク。

ヘルプマークを持つことで、「支援や配慮を必要としていることを知らせる効果」と、それを見た方に「支援や配慮を促す効果」があります。

ストラップを利用して、鞆等に付けて使用します。



ヘルプマーク

ヘルプカードとは

障がいのある方などが災害時や日常生活で困ったとき、周囲の方に理解や支援を求めるために、緊急連絡先や具体的な支援内容を記載できるカード。運転免許証くらいの大きさです。

障がい等が原因でコミュニケーションが取りにくい人は、周囲に助けを求めることが難しい場合があります。もし、困っている様子の人を見かけたら、「お手伝いしましょうか」と、声をかけましょう。



ヘルプカード